

科目名称	情報処理学 I				ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)	
英文科目名称	Data Processing I				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(○)	
科目コード	531830	授業形態	講義	単位数	2				
教員氏名	山本 浩貴		年次配当	1年次	前期	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
実務経験教員担当	(有)・無		アクティブラーニング		(有)・無				
授業概要及び授業方法	<p>社会のあらゆる分野にICT化による社会変革が進んでいる。今やインターネットの普及により、GAF(A(Google, Apple, Facebook, Amazon))などを中心とするeビジネス中心の社会となり、我々の日常生活やビジネス社会のビジネスプロセス(仕事のやり方)もここ数年で大幅に変わってしまった。情報に関する知識は、社会の中で当然身に付けておかななくてはならない常識となっている。</p> <p>本講座では講義形式で、情報の基礎、コンピュータの仕組み、ソフトウェア、ネットワーク技術、インターネットの仕組み、電子商取引(EC)などを学習する。</p> <p>授業の進め方として、社会状況を見ながらグループ学習であるTBL (Team-Based Learning) を取り入れる。</p>								
関連する科目	情報処理学 II				卒業認定(学習成果)との関連	③			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション。ハードウェアの仕組み：コンピュータの仕組み。入力装置・出力装置 2. コンピュータの中核の仕組み。コンピュータの基本構成。プロセッサ・メモリ 3. 補助記憶装置・記憶階層・入出力インターフェース 4. データの表現。文字コードと2進数 5. ソフトウェアとマルチメディア：OS (オペレーティングシステム) とは 6. ファイル管理 7. アプリケーションソフトウェア 8. マルチメディア技術 9. システム構成 10. ネットワーク：ネットワークの基本的な仕組み 11. インターネットの仕組み 12. 情報セキュリティ：情報セキュリティの脅威 13. 情報セキュリティ対策 14. 検定対策1 15. 検定対策2 								
授業時間外の学習	授業で学習したことを復習重点に1時間ほどは次回の授業までに学習してほしい。								
授業の到達目標	情報処理技術の基礎的知識である、実社会の事務レベルで活用できる情報知識の習得を目指す。具体的には情報処理検定3級レベルの合格を目指す。								
課題に対するフィードバック	学習状況により指導する。				評価方法・基準	授業中の小テスト・課題提出(50%)、定期試験(50%)で評価する。			
テキスト	「身につく!合格!ITパスポート」 (株)インフォテックサーブ								
参考書	別途指示する								
備考									